

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 酒井 善広

- I 開催年月日 令和 4 年 4 月 20 日（水）
II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 22 分
III 出席委員等 〔出席委員〕◎酒井 善広 ○石須 大雄 山上 尊士
梅島 清香 嶋川 武秀 薮中 一夫
金森 一郎 大井 正樹 狩野 安郎
(◎…委員長 ○…副委員長)
〔議長〕 坂林 永喜
〔副議長〕 本田 利麻
〔説明員〕 別紙名簿のとおり
〔委員外議員〕 なし
〔事務局職員〕 西本 幸夫 高嶋 史恵 堀 泰平
〔傍聴者〕 1 名

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔都市創造部〕

- (1) 高岡市優良建築物等整備事業の対象エリアの拡大について
- (2) 能越自動車道福岡 P A のインターチェンジ化について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

2 その他について

次回の常任委員会の開催について

5 月 18 日（水）午後 1 時に開催することが報告された。

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

- 。高岡御車山祭・伏木曳山祭の開催について

〈 委員から、次の質疑等があった。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示)

【高岡御車山祭・伏木曳山祭の開催について】

- 高岡御車山祭・伏木曳山祭は高岡市にとって大変大きな行事の一つであり、御車山の車輪については、漆塗り、金工等のものづくりの技術がある。県から産業振興部長として着任された新任部長として、本市の観光やものづくりに対する見解は。
- △ 先週、高岡御車山会館を訪れた際に大きな山車が飾ってあるのを見て、幼い頃に見た光景をはっきりと思い出し、数十年ぶりに見た山車は非常に立派であると深く感銘を受けた。こうした祭りというものは、地元の皆様がこれまでの歴史、伝統、文化を伝承されてきたことが、今日まで残っている要因であると思っている。観光の面では、地元の方々がコロナ禍においてもまずはできることを実施していこうと判断されたことに非常に感銘を受けたところであり、市としては感染防止対策をしっかりと行っていきたいと思っている。ものづくりの面では、高岡市は古くからの伝統産業に端を発して、現在も例えばアルミ関連産業の集積が進んでいると思っている。呉東地区から見ると、呉西地区は文化、産業の面でも非常に集積があり、豊かな土地柄であると感じている。昨今はコロナによる需要の変化、国際情勢に伴う原材料費への影響により、先行きが見通せない状況であるが、市としては事業者の皆様がこういった方向性に進んでいきたいと考えているかを伺いながら、精一杯支援してまいりたい。
- 高岡御車山祭の正午の勢揃式における他市町村からの来賓の状況は。
- △ 感染防止対策のため間隔を空けて着席できるようにするため、来賓の人数はこれまでより少なくさせていただいている。県内関係者を中心に選考し、県外の方については、最小限とし、また原則各団体1名ずつの招待ということでお願いしている。
- 飛越能の首長や議長は今回呼ばないのか。
- △ 近隣県ということでお誘いさせていただいたところもあるが、出欠はまちまちな状況である。
- 開催に当たっての感染防止対策として、PCR検査はどのタイミングで実施するのか。また、祭りと言え、賑わいの一つとして香具師（やし）があると思うが制限をかけるのか。
- △ PCR検査について、高岡御車山祭においては開催の1週間ほど前に2日間にわたって実施すると伺っている。伏木曳山祭についてもPCR検査は実施すると伺っているが、現時点で日時については把握していない。また、香具師については、感染対策を講じた上で実施されるよう調整しているところである。
- 現在、コロナの状況が落ち着いてきて、いろいろなところでスポーツイベントが行われてきているが、大人数が集まる場所では厳しいPCR検査をされた上で実施していると聞いている。特に高岡御車山祭はゴールデンウィーク期間中ということで、見に来られる方も増えると思われ、実行される皆様の安全を保ちながら、高岡市民を元気付けていただきたい。また、提携を結んでいる各市町村の皆様に対し

ケーブルテレビやY o u T u b e で視聴していただくよう P R に努めていただきたい。(要望)

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（9名）

産業振興部長	式 庄 寿 人	都市創造部長	赤 阪 忠 良
産業振興部次長	堺 啓 央	都市創造部次長	澤 徹
産業振興部次長	長 久 洋 樹	都市創造部次長	西 條 正 輝
産業振興部参事（兼務）	西 條 正 輝	都市創造部次長 都市計画課長	山 森 久 史
観光交流課長	森 川 朋 子	道路整備課長	中 出 裕 嗣